

資料提供(投げ込み) 平成31年1月16日(水)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
市民部 地域連携課 (電話059-229-3105)	地域連携課長 川原田 吉光

第6回市政アンケートに係る調査結果概要について

津市では、市政に対する市民の皆さんの考えや声を広くお聴きし、その結果を今後の市政運営に役立てるため、平成20年度から隔年で市政アンケートを実施しています。

平成30年7月26日から8月17日までに実施しました第6回市政アンケートに係る調査結果の集計が終わりましたので、調査結果概要をお知らせします。

記

1 調査の概要

(1) 対象者

無作為に抽出した市内在住の外国人を含む20歳以上の男女3,000人

(2) 期間

平成30年7月26日から同年8月17日まで

(3) 調査方法

郵送による調査(配布・回収ともに郵送)

2 結果の概要

(1) 調査結果の概要

別紙のとおり

※まちのイメージ、防犯・消費生活、健康・スポーツ、空き家などの項目について調査

(2) 回収率

42.7%

(3) その他

比率はすべて%で表示しましたが、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

なお、今回のアンケート調査においては、42.7%の回答を得ており、統計学上、信頼性のある結果となっています。

3 その他

詳しい内容は、1月16日から津市ホームページで公開します。

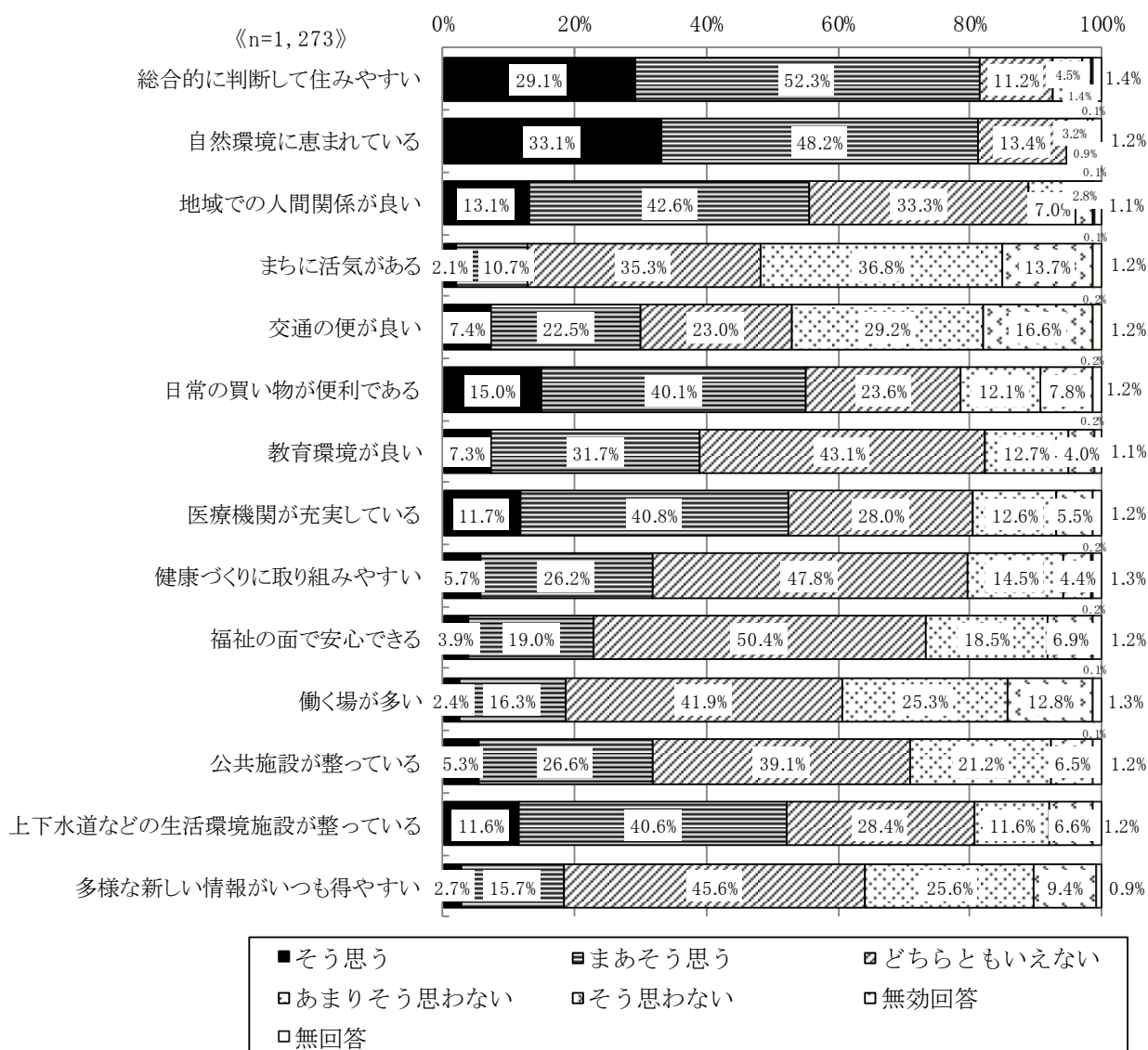
第6回市政アンケート調査結果概要

調査の期間 平成30年7月26日から同年8月17日まで

(1) まちのイメージについて

津市のイメージについてお聞きしたところ、「総合的に判断して住みやすい」について「そう思う」「まあそう思う」を合わせた肯定的意見の割合は81.4%で、津市の総合的な住みよさについては高評価でした。また「自然環境に恵まれている」も肯定的意見が81.3%と高評価でした。このほか、「地域での人間関係が良い」「日常の買い物が便利である」「医療機関が充実している」「上下水道などの生活環境施設が整っている」は、いずれも肯定的意見が50%以上でした(図1)。

図1 津市のイメージ



(2) 防犯・消費生活について

防犯・消費生活についてお聞きしたところ、津市の治安について「良い」、
「どちらかといえば良い」と感じている人が過半数を占めました（図2）。犯罪
や消費者トラブルについて、特に多くの人不安に感じている項目は、「交通事
故被害」「空き巣」「悪質な勧誘・訪問販売」でした（図4）。悪質商法など消
費者トラブルにあった場合、津市消費生活センターに「ぜひ相談したい」「面談
は抵抗があるが、電話でなら相談したい」人は72.2%でした（図3）。

図2 津市の治安に関する認識

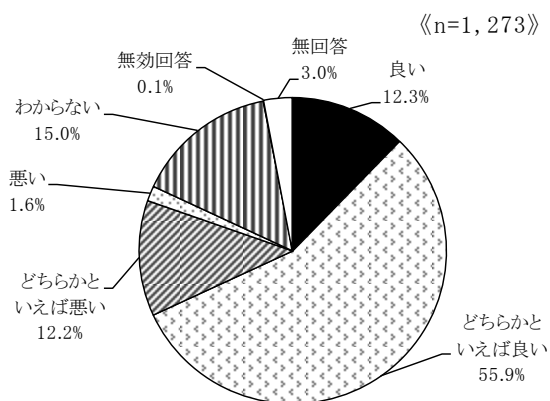


図3 「津市消費生活センター」への相談意向

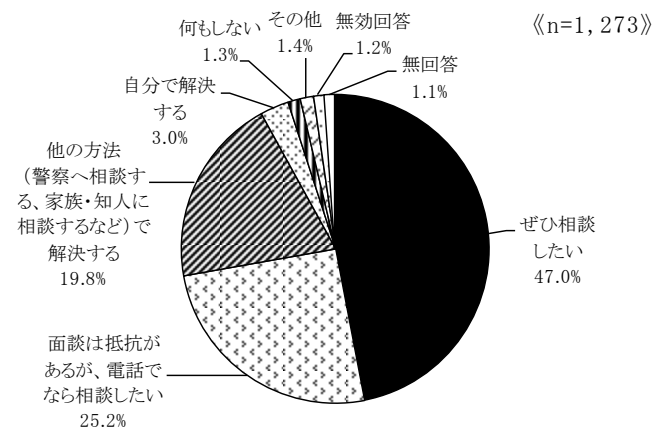
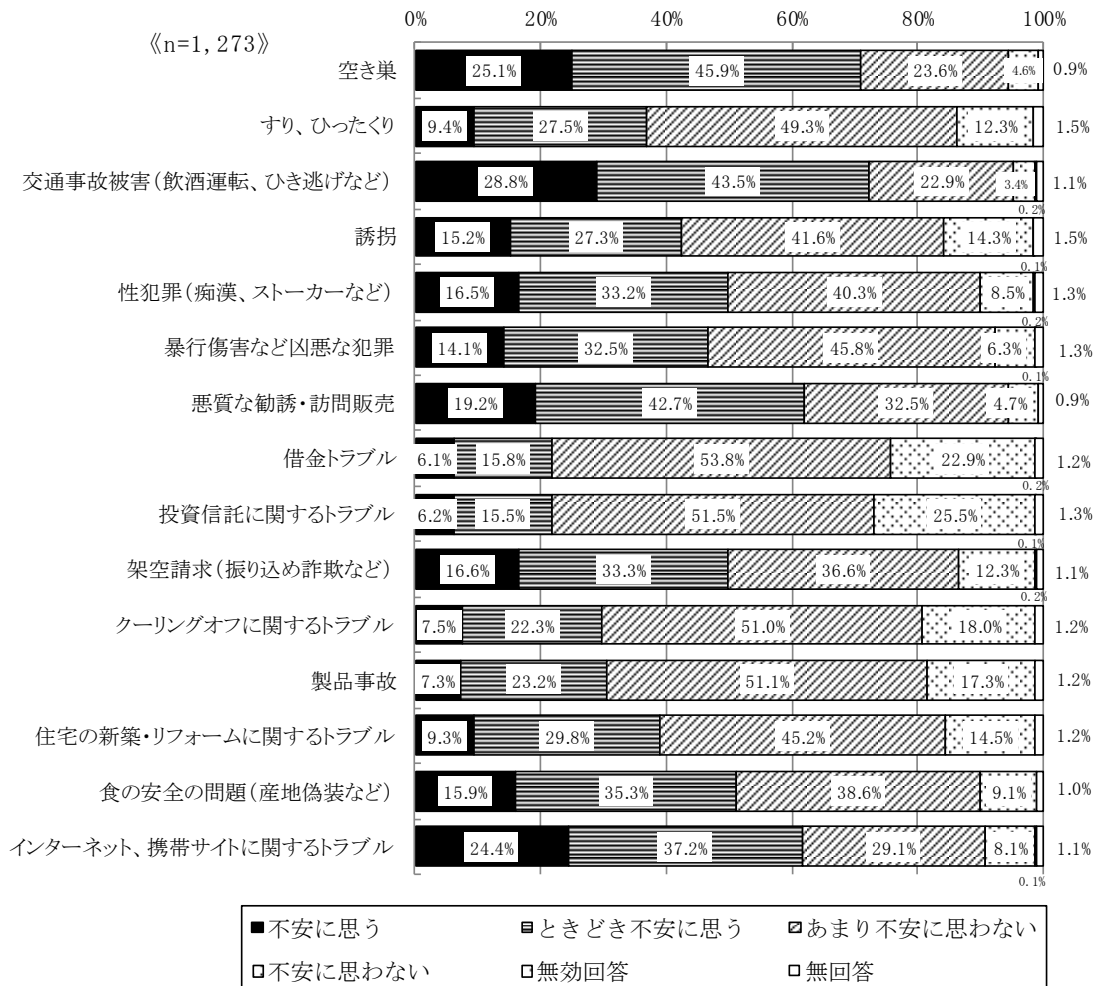


図4 犯罪や消費者トラブルに関する不安の程度



(3) 健康・スポーツについて

健康についてお聞きしたところ、普段の健康への気遣いについては、「普段からよく気を付けている」「よく気を付けているほうだ」とした人が69.6%と約7割を占めました(図5)。困った時の相談相手の有無については、「いる」とした人が87.7%でした(図6)。自殺については、「防ぐことができる自殺も多い」「自殺対策に対する啓発活動が必要である」で、「そう思う」「まあそう思う」とした人が過半数を占めました(図7)。

図5 健康への気遣い

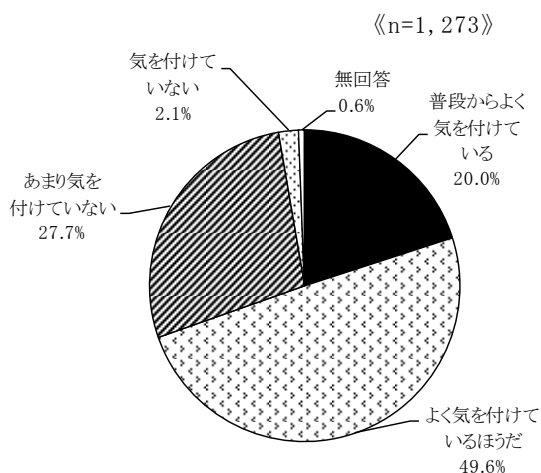


図6 困った時の相談相手の有無

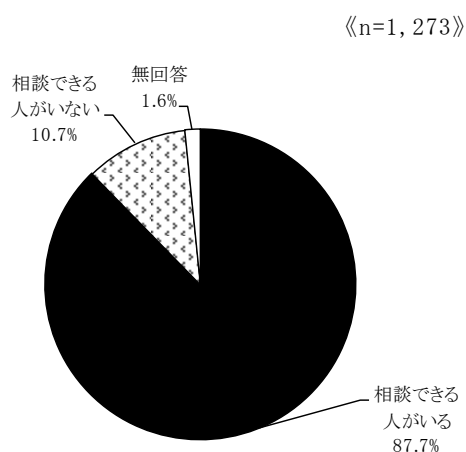
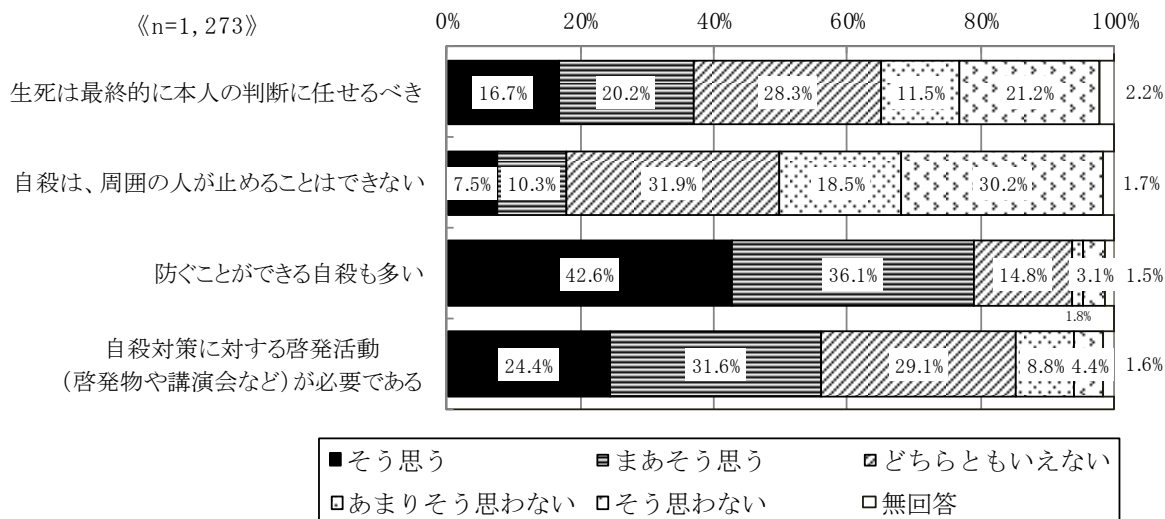


図7 自殺についてどのように思うか



スポーツ活動の頻度についてお聞きしたところ、「週に3日以上」と「週に1～2日」の週に1日以上活動している人は27.7%となりました（図8）。

また、開催を望むスポーツ教室についてお聞きしたところ、「受講料金が安い」（53.4%）と「健康の維持・増進」（48.9%）が突出して高く、「休日に開講している」（21.9%）が続いています（図9）。

図8 スポーツ活動の頻度

《n=1,273》

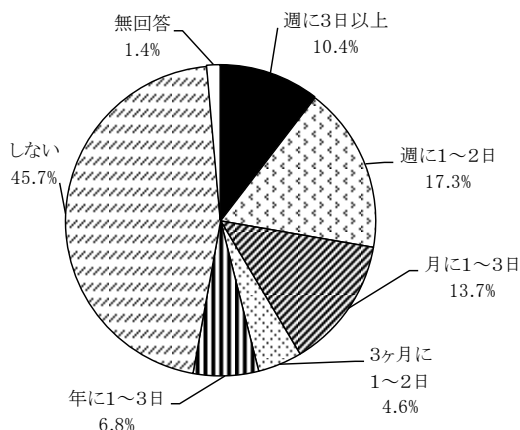
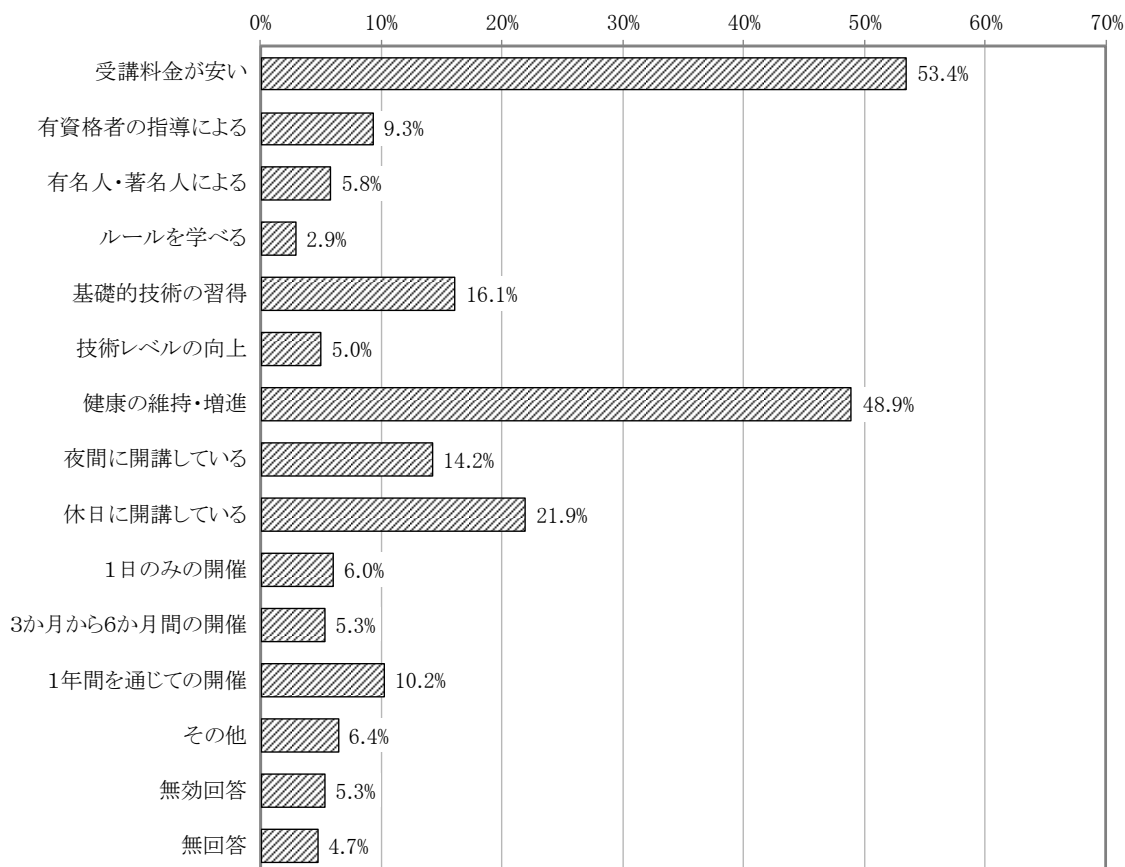


図9 開催を望むスポーツ教室

《n=1,273》



(4) 空き家について

空き地・空き家に関する市の相談窓口を知っているかお聞きしたところ、「はい」は26.5%でした(図10)。津市空き家バンクを知っているかお聞きしたところ「はい」は23.1%でした(図11)。空き家の所有及び今後10年以内に自宅が空き家になる可能性については、空き家を所有している人が2割弱、今後10年以内に空き家になる可能性がある人が1割弱でした(図12)。空き家を所有している人に対し、津市空き家バンクへの登録意向についてお聞きしたところ、「今後、登録したい」人は18.0%でした(図13)。

図10 空き地・空き家に関する市の相談窓口の認知度

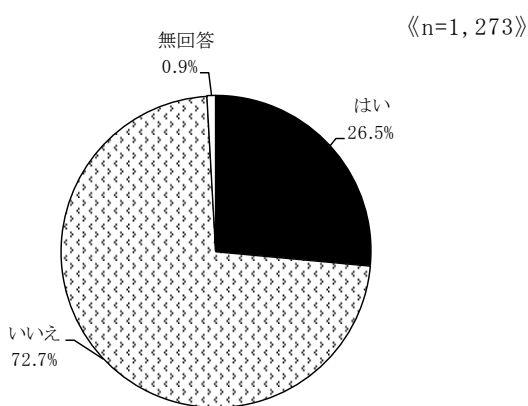


図11 津市空き家バンクを知っているか

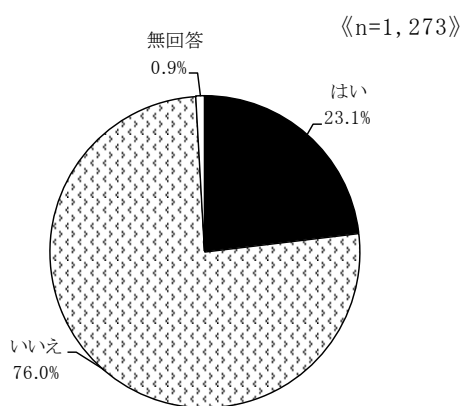


図12 空き家の所有及び今後10年以内に

自宅が空き家になる可能性

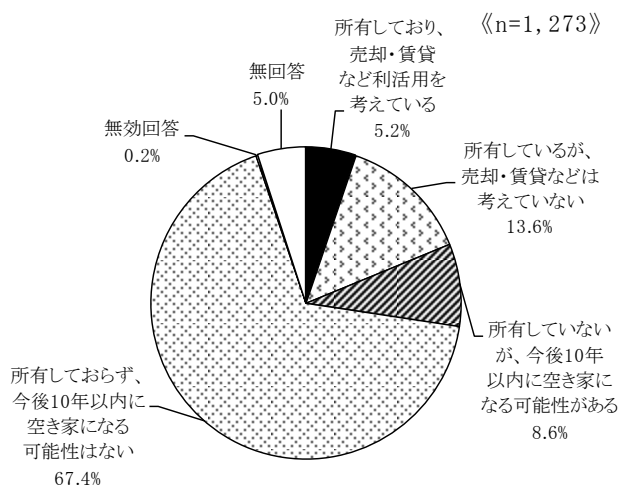
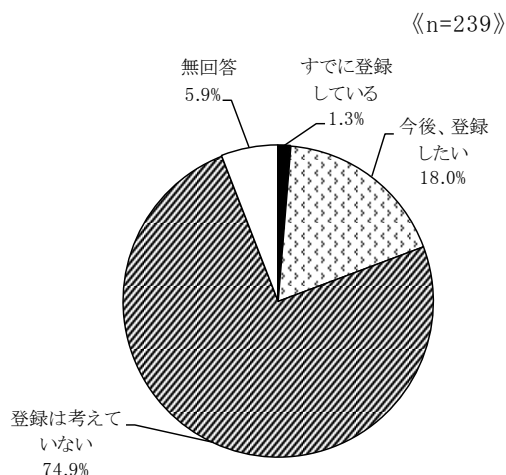


図13 津市空き家バンクへの登録意向



(5) バス等の利用状況について

バス交通の利用状況をお聞きしたところ、「利用しない」「ほとんど利用しない」を除いた『月に1日以上利用している人』は1割弱でした(図14)。バス交通を利用する際の目的地をお聞きしたところ、「鉄道駅等」(48.6%)が最も高く、次いで「医療施設」(18.9%)、「スーパー等の商業施設」(18.4%)となりました(図15)。バス交通について改善が必要なことについてお聞きしたところ、「運行本数」(57.6%)が最も高く、次いで「自宅や目的地からバス停までの距離」(27.0%)、「運行時間帯」(26.5%)となりました(図16)。

図14 バス交通の利用状況

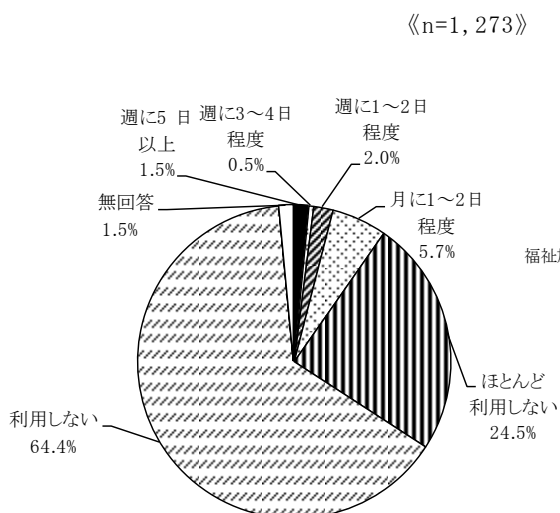


図15 バス交通を利用する際の目的地

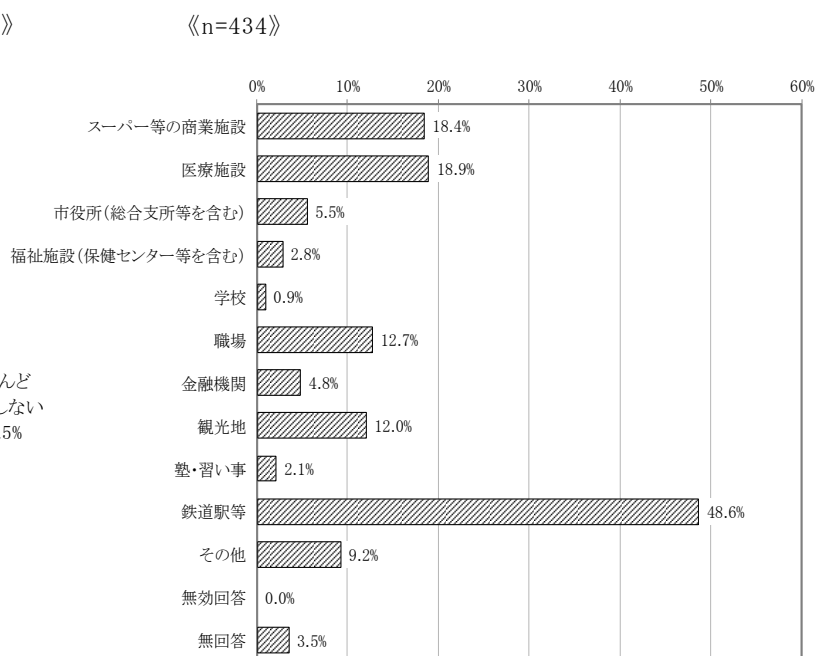
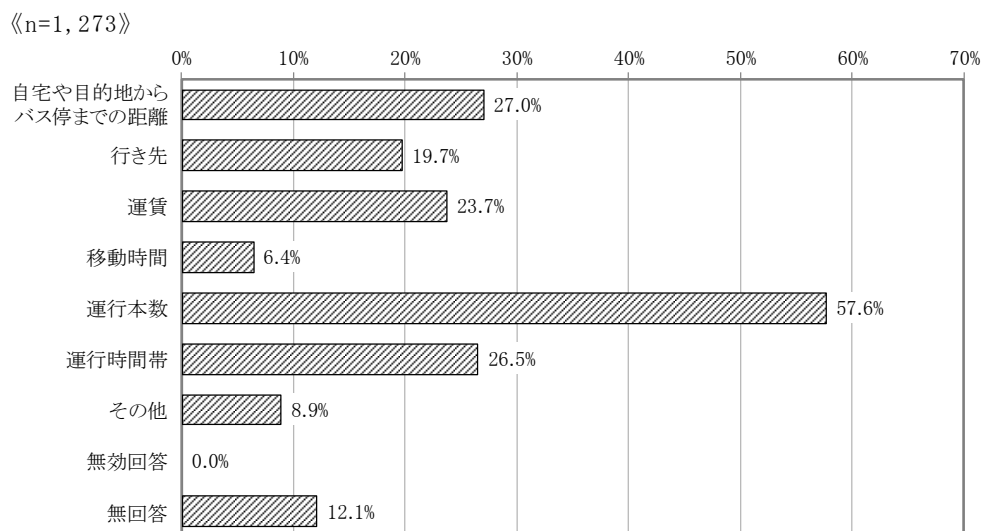


図16 バス交通について改善が必要なこと



(6) 買い物環境について

毎日の生活に必要な食料品を買いに行く店についてお聞きしたところ、「食品スーパー」(91.0%)、「百貨店・総合スーパー」(21.2%)、「ドラッグストア」(20.3%)の順となりました(図17)。そこへ行くために最も利用する交通手段は、「自動車」(86.1%)が最も高く、他の項目を大きく上回りました(図18)。買い物環境の改善に必要なことは、「近隣への新規出店」(39.8%)が最も高く、次いで「公共交通機関の充実」(24.0%)となりました(図19)。

図17 毎日の生活に必要な食料品を買いに行く店

図18 最も利用する交通手段

《n=1,273》

《n=1,227》

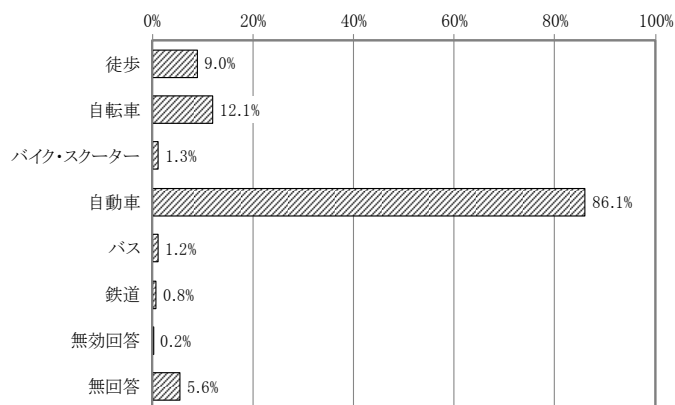
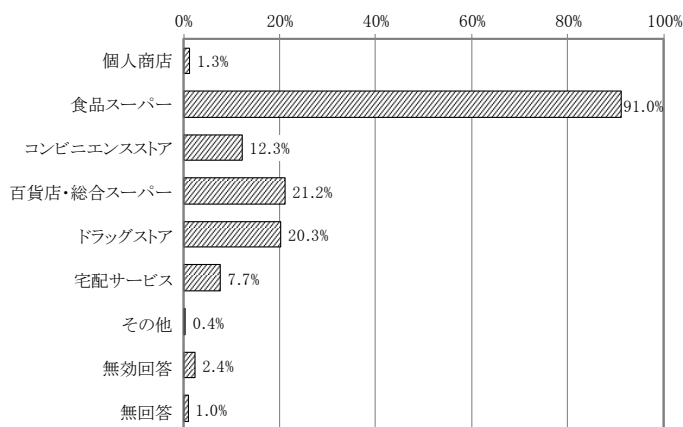
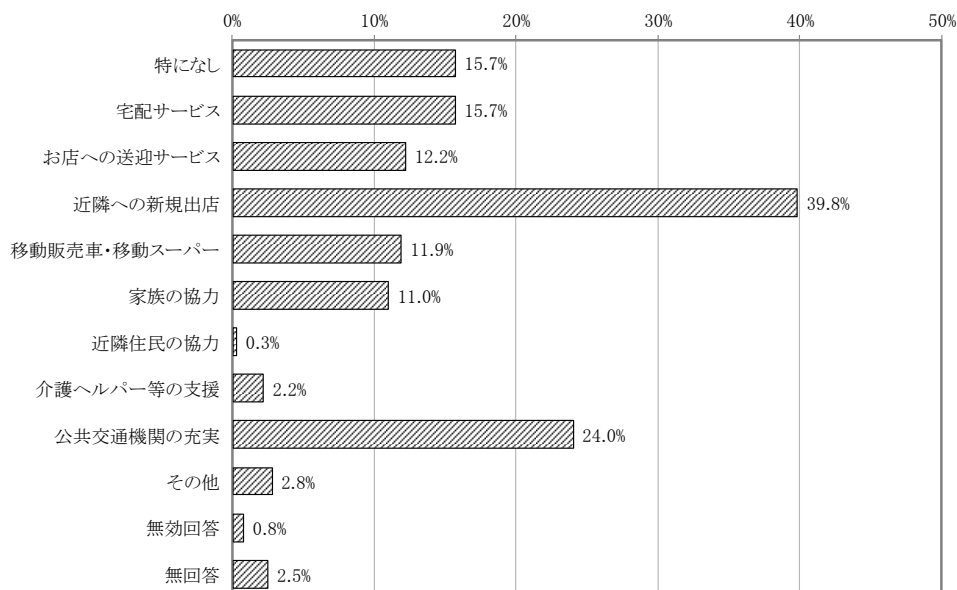


図19 買い物環境の改善に必要なこと

《n=362》



(7) 木造住宅の耐震化・住宅防火対策について

木造住宅の耐震化や除却に対する補助制度についてお聞きしたところ、耐震補強に係る補助制度を「知っている」人は31.2%、木造住宅の除却に係る補助制度を「知っている」人は14.8%でした(図20)。住宅用火災警報器の設置については、「義務のあるすべての部分に設置している」が36.1%と最も高く、一方で「設置していない」は26.1%となっています(図21)。設置していない理由については、「設置義務があることを知らなかった」「必要性を感じない」がともに29.8%となっています(図22)。また、住宅用火災警報器の作動確認実施については、「実施していない」人が73.0%となっています(図23)。

図20 木造住宅の耐震化や除却に対する補助制度の認知度

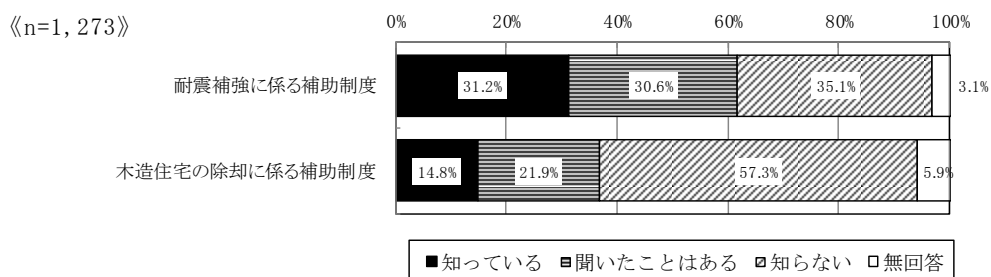


図21 住宅用火災警報器の設置について

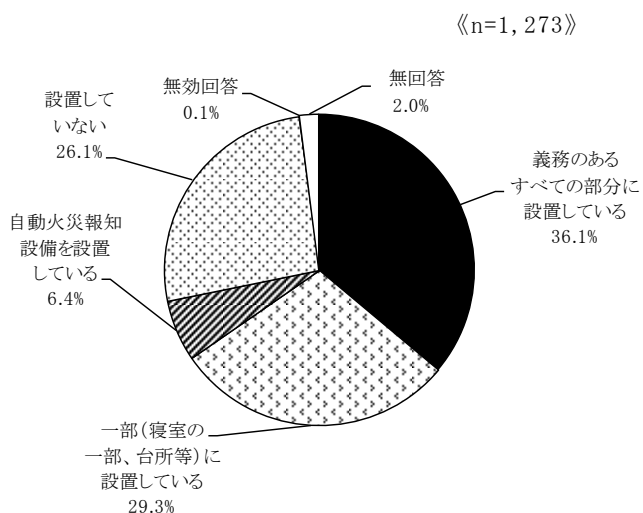


図22 住宅用火災警報器を設置していない理由

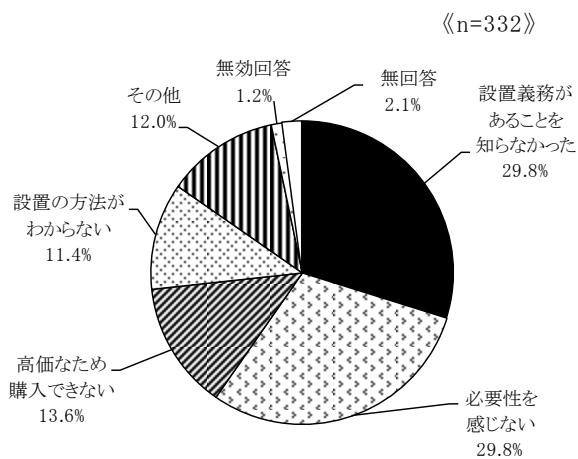
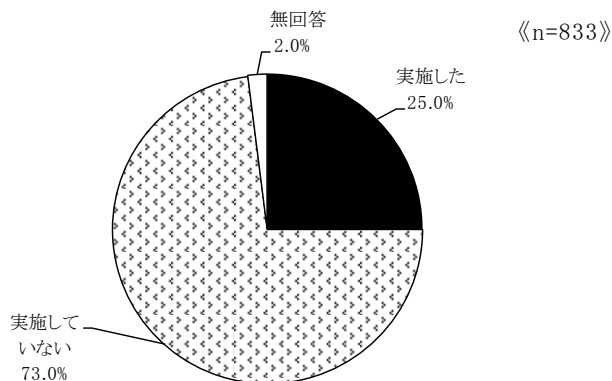


図23 住宅用火災警報器の作動確認実施の有無



(8) 教育・文化について

公民館に求めることについてお聞きしたところ、「地域の活性化」(50.8%)、「仲間づくり」(39.7%)、「自己の教養の向上」(39.4%)が高い割合となりました(図24)。これからの公民館に最も必要となってくると思われる機能については、「地域の拠点としての機能」(35.3%)が最も高く、次いで「多世代の人が交流する場としての機能」(28.3%)となっています(図25)。

図24 公民館に求めること

《n=1,273》

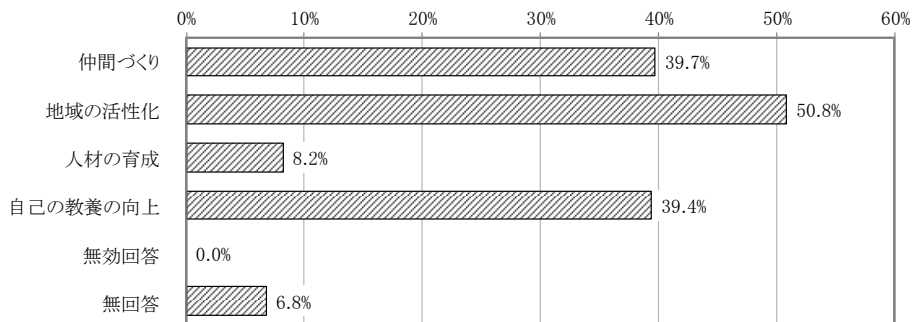
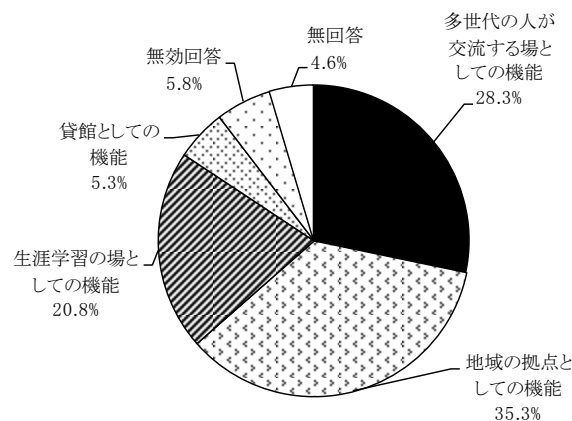


図25 公民館に最も必要となってくる機能

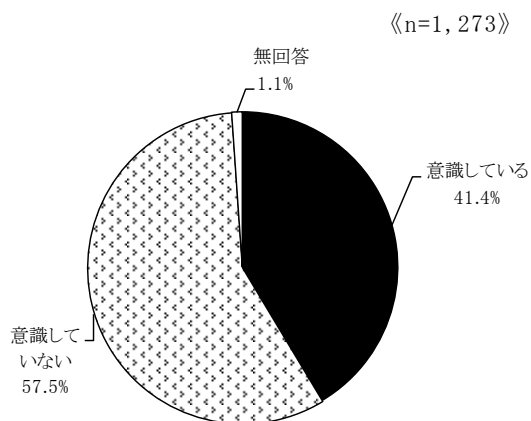
《n=1,273》



(9) 農業振興について

農業振興については、津市農林水産物に関して津産津消を意識しているかお聞きしたところ、「意識している」人は41.4%でした(図26)。

図26 津産津消の意識の有無



(10) 行政情報発信について

行政情報発信として、広報津、行政情報番組、市ホームページの閲覧状況等についてお聞きしたところ、「広報津」を「読んだことがある」人は89.2%でした(図27)。よく読むページについては、「全ページ」「何となく目に付いたところ」を除くと、「市からののお知らせ」「まちの情報ひろば」が多く読まれています(図29)。

津市行政番組の認知度は34.2%でした(図28)。津市行政情報番組の中では、「まちのできごと」が多く見られています(図30)。

津市ホームページを見たことがある人は51.1%で(図31)、「市の手続きや制度が知りたいとき」「観光やイベントの情報が知りたいとき」「営業時間や問い合わせ先、アクセスが知りたいとき」に多く見られています(図33)。また、見たい情報を見つけることが「できた」人は84.9%でした(図32)。

図27 「広報津」を読んだことの有無

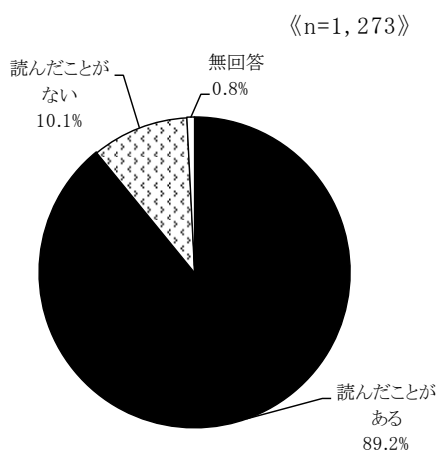


図28 津市行政番組の認知度

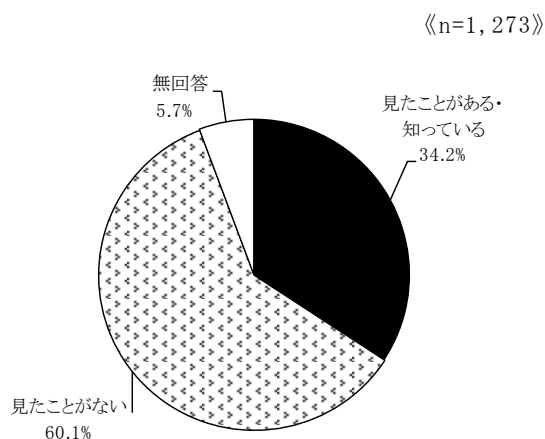


図29 「広報津」でよく読むページ

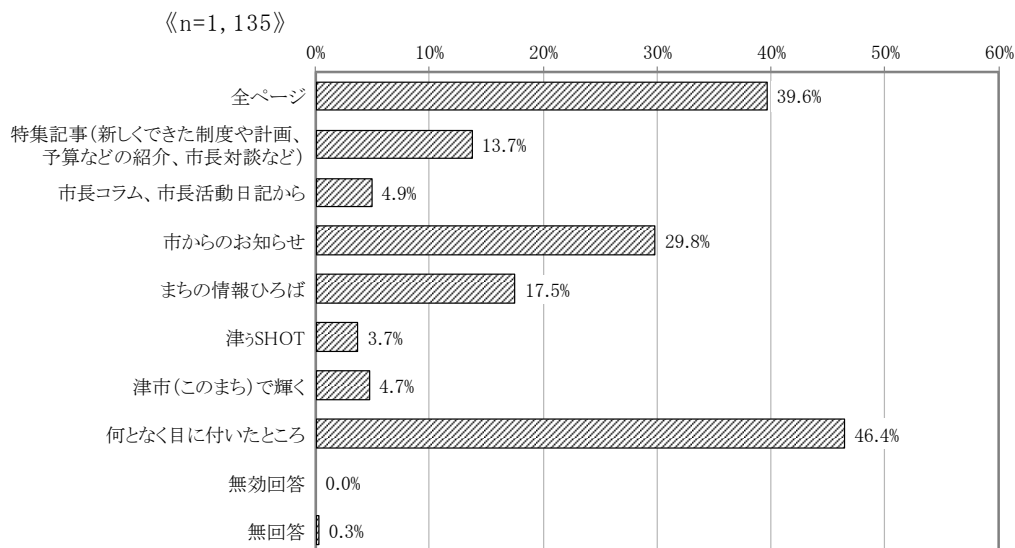


図 30 津市行政情報番組でよく見るコーナー

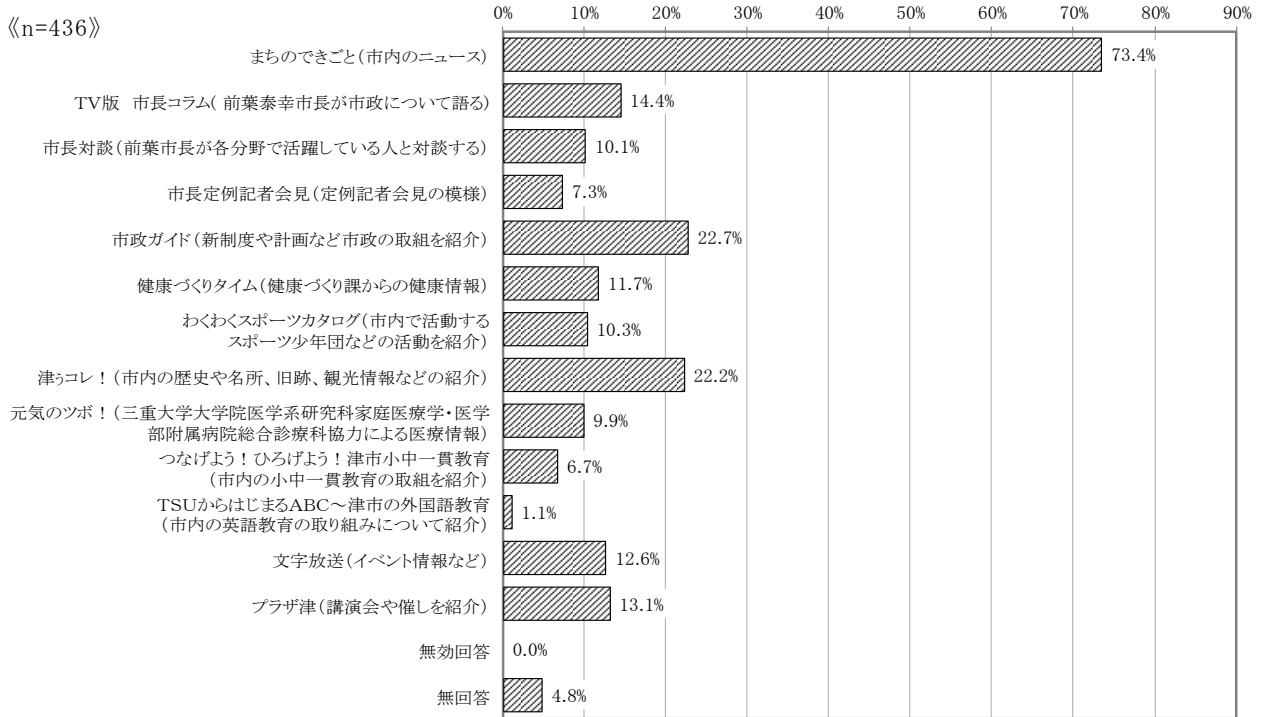


図 31 津市ホームページの認知度

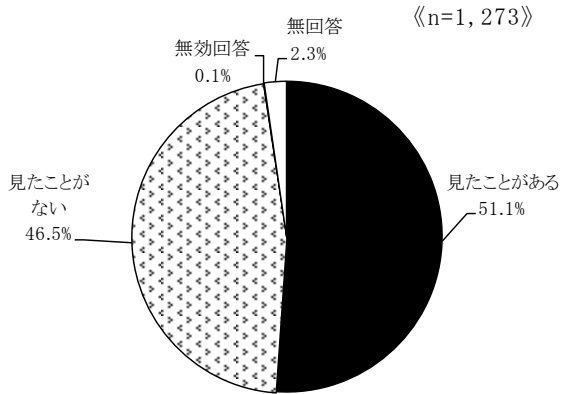


図 32 津市ホームページの情報検索の容易さ

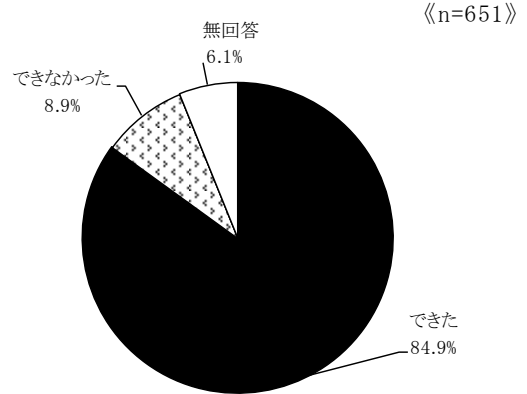
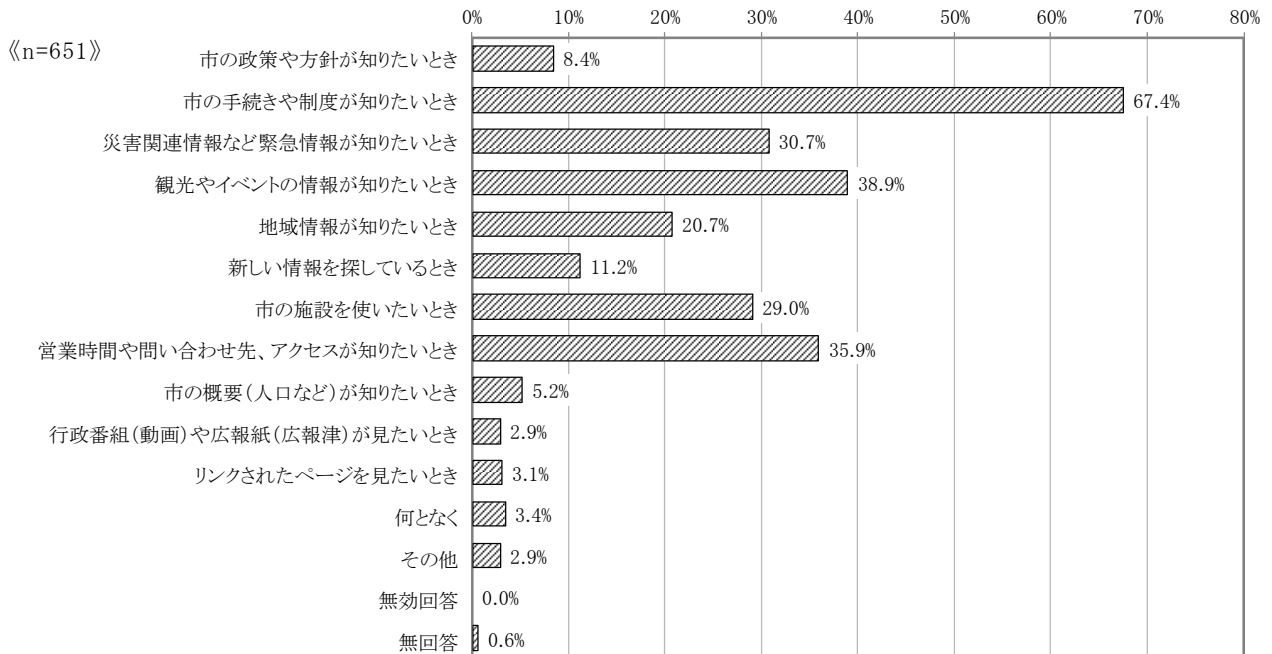


図 33 津市ホームページの閲覧理由



(11) 公共施設のネーミングライツについて

公共施設のネーミングライツ導入についてお聞きしたところ、「どちらでも良い」（42.8%）が最も高く、次いで「賛成」（36.7%）となりました（図34）。ネーミングライツに賛成する理由は、「施設の管理・運営費が確保できる」が55.1%（図35）、反対する理由は「契約期間ごとに施設の名称が変わってしまう恐れがあり、分かりにくい」が63.5%（図36）と、それぞれ最も高くなっています。

図34 市の施設へのネーミングライツ導入について

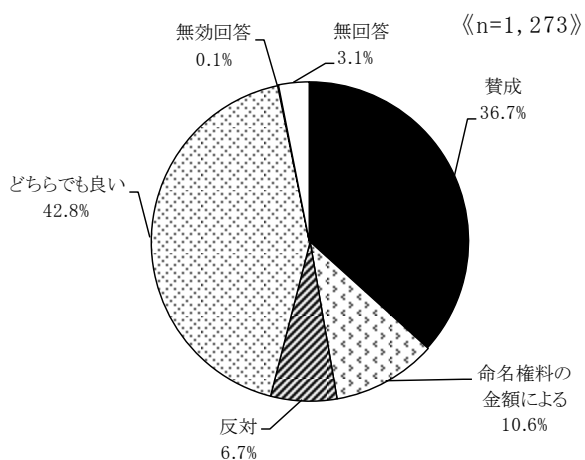


図35 ネーミングライツ導入に賛成する理由

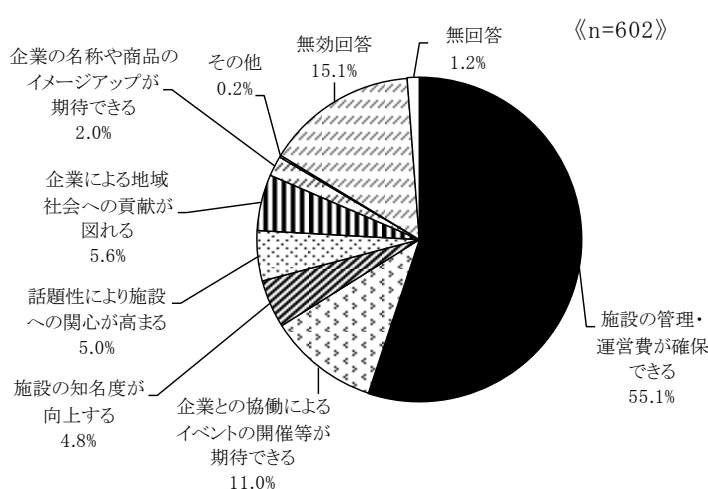


図36 ネーミングライツ導入に反対する理由

